

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度

(令和5年7月 ～ 令和6年6月)



株式会社 瀬口組

作成日 令和6年9月16日

目次

事業概要	1
組織図	2
実施体制	3
環境経営方針	4
環境目標	5
主要な活動計画の内容	6
環境目標の実績と取組結果と評価	8
環境負荷推移グラフ	9
次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
環境関連法規への違反、訴訟の有無	13
代表者による全体の取組状況の評価と見直し	13

事業概要

事業所名 株式会社 瀬口組

代表者名 代表取締役 瀬口 憲一

所在地 (本 社) 〒 800-0251
北九州市小倉南区葛原5-2-5
seguchigumi@samba.ocn.ne.jp

(中津支店) 〒 871-0024
大分県中津市中央町2-7-52
seguchi-g@beach.ocn.ne.jp

環境管理責任者 建築部長

担当者 総務部

連絡先 (本社) TEL 093-471-1043 (中津支店) TEL 0979-22-2008
FAX 093-471-1094 FAX 0979-22-2002

資本金 30,000 千円

設立年月日 昭和26年5月1日

建設業許可番号 国土交通大臣 許可 (特-4) 第 7003 号

事業の内容 土木工事業 建築工事業
とび・土工工事業 タイル・れんが・ブロック工事業
ほ装工事業 ガラス工事業
防水工事業 板金工事業
建具工事業 塗装工事業
内装仕上工事業 解体工事業

事業の規模

全 社

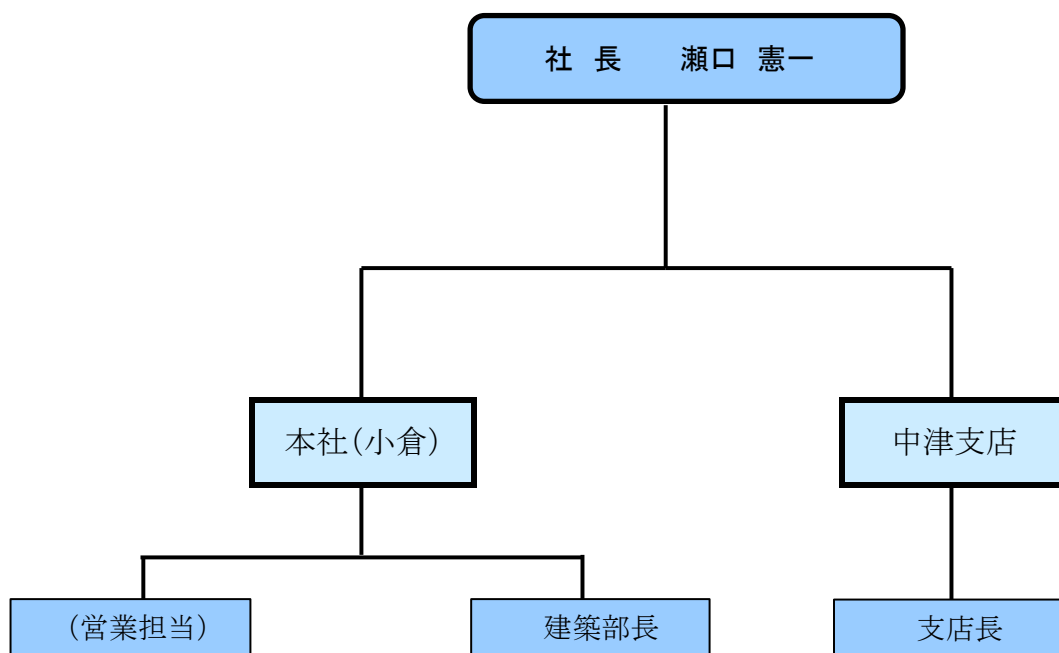
	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	786	668	1,057
従業員数	人	19	19	17
床面積	m ²	969.52	969.52	969.52

当社の事業年度

7月1日 ～ 翌年 6月30日

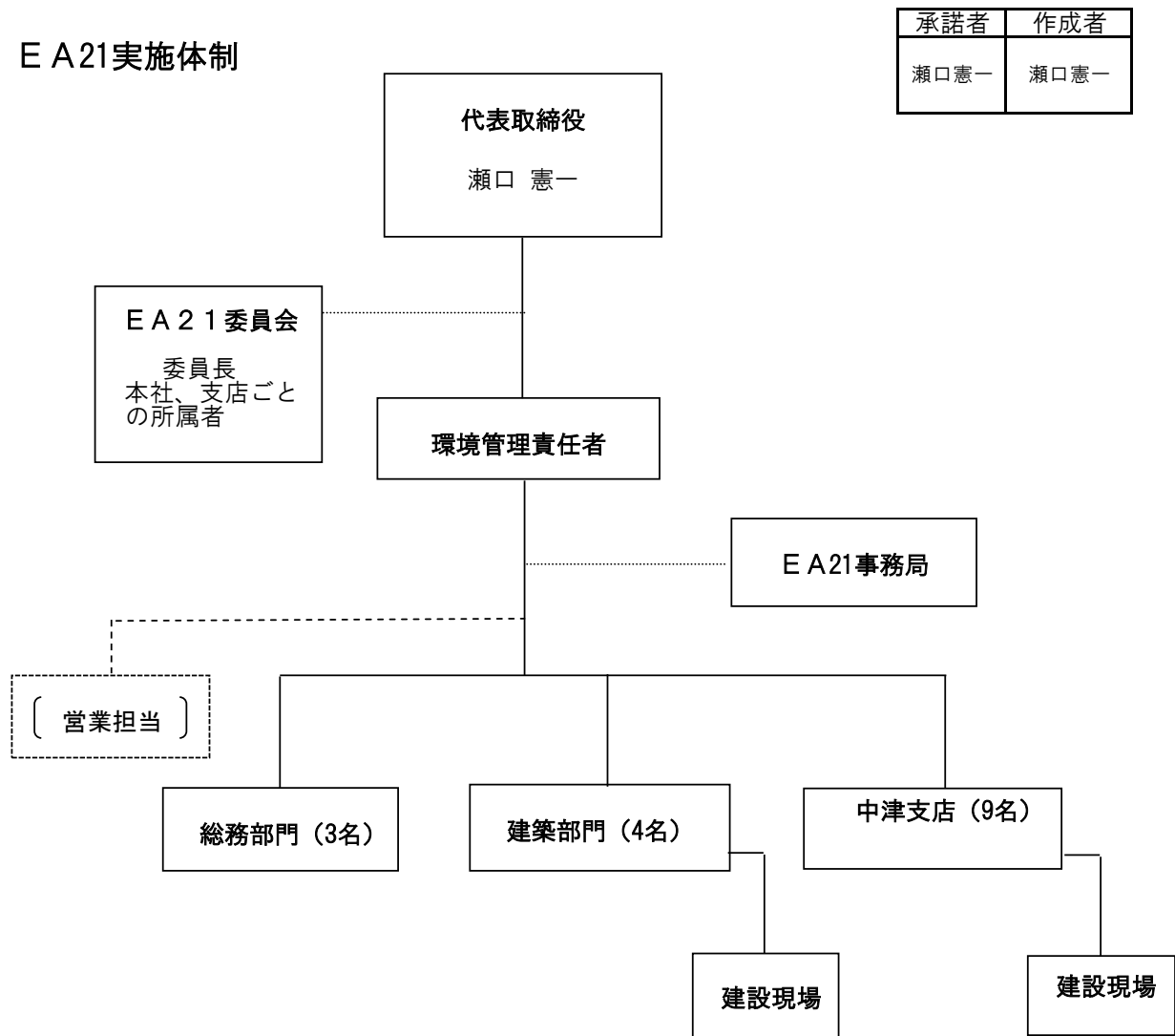
活動レポート対象期間 令和5年7月1日～令和6年6月30日

(株) 瀬口組 組織図



認証登録範囲 全社・全組織を対象とする。

E A21実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表取締役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
建築部長	全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。
EA21事務局	E A21文書及び記録類の作成・維持・管理
総務部	電力、水消費量の管理
総務部	廃棄物の排出量管理、リサイクル率管理
総務部	車燃料（ガソリン、軽油）、灯油消費量管理

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社瀬口組は、建設工事を通じて「依頼された建築物は自らの建築物と
考えて行動する」を掲げ、事業活動のあらゆる局面で環境に影響を与えて
いることを認識し、「自然は祖先から譲り受けたものではなく、子孫より
借り受けたものである」をモットーとして、環境保全に取り組みます。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減を継続的に推進します。
そのために以下の事項に重点的に取り組みます。

I. 環境管理の強化

事業活動において、環境管理のPDCAを回すことにより、環境管理の
強化を目指します。

II. 環境の保全

環境に影響を与える事業活動の“環境側面”を常に認識し、省資源、
省エネ、廃棄物の低減等の継続的改善を実践することにより、環境の
保全と汚染の予防に努めます。

1. 二酸化炭素排出削減に取り組みます。
使用エネルギー(電気、ガソリン)の削減に努めます。
2. 省資源並びにリサイクルに取り組みます。
分別により、リサイクルを推進します。
3. 材料や備品等のグリーン購入に取り組みます。
4. 建設現場における景観及び環境保全に努めます。
5. 協力業者に、環境への取り組みを理解し また行動していただくよう
努めます。

III. 法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守します。

IV. 実践

1. 本指針達成のため、これを従業員に周知して、実践するとともに、
環境経営の継続的改善を誓約するものであります。
2. 基本理念を念頭に、民間への営業活動を推進する。

令和4年10月18日(改訂)

株式会社 瀬口組

代表取締役 瀬口憲一



環 境 目 標

項 目	単位	令和4年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	47,237	47,006 (▲0.49%)	46,817 (▲0.89%)	46,637 (▲1.27%)
電気使用量	kWh	49,960	49,710 (▲0.5%)	49,600 (▲0.7%)	49,560 (▲0.8%)
灯油使用量	ℓ	120	120 (- %)	119 (▲0.8%)	110 (▲8.3%)
軽油使用量	ℓ	1,677	1,670 (▲0.4%)	1,650 (▲1.6%)	1,640 (▲2.2%)
ガソリン使用量	ℓ	10,140	10,090 (▲0.5%)	10,050 (▲0.9%)	10,000 (▲1.4%)
廃棄物排出量	t	95	95 (- %)	93 (▲2.1%)	90 (▲5.3%)
建設副資材のリサイクル率	%	94.4	95 (0.6%)	95 (0.6%)	96 (1.7%)
水使用量	m ³	417	415 (▲0.5%)	410 (▲1.7%)	400 (▲4.1%)
グリーン購入 文具の購入時にはグリーン購入 を優先する	%	49	50 (2.0%)	52 (6.1%)	54 (10.2%)
濁水の発生を極力防止する					
建設騒音・振動の発生を極力防止する					
建設現場地域の景観保存をする。					
環境に関する提案をする。					

事業年度は「7月1日～翌年の6月30日」

※九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.382kg-CO₂/kWh)を使用

主要な活動計画の内容

【 事務所 】

二酸化炭素排出量の削減	
取組目標	活動項目
電気使用量の削減 	・エアコン設定温度を決め、実行する(温度計設置) (冷房28℃、暖房23℃) ・昼休みの消灯 ・残業時の不要な照明の消灯 ・長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
灯油使用量の削減	・温度計を設置し室温の適切な管理を行う
ガソリン使用量の削減	・エコドライブの励行 ・アイドリングストップの励行
軽油使用量の削減	・省エネドライブの励行 ・アイドリングストップの励行

一般廃棄物排出量の削減	
取組目標	活動項目
紙使用量の削減 	・ペーパーレス化の推進 ・裏紙の利用 ・分別により紙類を再利用業者へ

総排水量の削減	
取組目標	活動項目
節水活動の推進 	・蛇口はこまめにひねる。

【 建設現場 】

二酸化炭素排出量の削減	
取組目標	活動項目
電気使用量の削減	・エアコン設定温度を決め、実行する。(冷房28℃、暖房23℃) ・昼休みの消灯 ・不要な照明の消灯
軽油使用量の削減	・省エネドライブの励行 ・アイドリングストップの励行

廃棄物排出量の削減	
取組目標	活動項目
産業廃棄物の削減	・廃棄物の分別の徹底
紙屑の削減	・裏紙の利用 ・ペーパーレス化の推進 ・シュレッダーの使用を機密文書等に限る ・分別により紙類を再利用業者へ

リサイクル率の向上	
取 組 目 標	活 動 項 目
リサイクル率の向上	・廃棄物の分別方法の工夫 ・紙類を再利用業者へ

濁水の発生防止	
取 組 目 標	活 動 項 目
濁水の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情の発生を「ゼロ」に維持する。	・濁水の適切な処理の実施

建設騒音・振動の発生防止	
取 組 目 標	活 動 項 目
建設騒音・振動の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情の発生を「ゼロ」に維持する。	・低騒音型建設機材の検討・採用 ・作業工程の工夫など影響の最小限化

建設現場地域の景観保存	
取 組 目 標	活 動 項 目
地域との協調ならびに景観保存	・建設現場の整理整頓、清掃

環境に関する提案	
取 組 目 標	活 動 項 目
環境に関する提案をする	・工事受注の際には、施工主に環境に関する提案を行う。

***環境目標の実績**

『令和5年度』(令和5年7月～令和6年6月)

項 目	単位	令和4年度 (基準年度)	令和5年度 (R5.7.1～R6.6.30)		
			目 標	結 果	評価
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	47,237	47,006 (▲0.49%)	32,782	○
電気使用量	kWh	49,960	49,710 (▲0.5%)	28,863	○
灯油使用量	ℓ	120	120 (- %)	180	✖
軽油使用量	ℓ	1,677	1,670 (▲0.4%)	2,171	✖
ガソリン使用量	ℓ	10,140	10,090 (▲0.5%)	6,907	○
廃棄物排出量	t	95	95 (- %)	49	○
建設副資材のリサイクル率	%	94.40	95 (0.6%)	94.8	✖
水使用量	m ³	417	415 (▲0.5%)	194	○
グリーン購入 文具の購入時にはグリーン購入 を優先する。	%	49	50 (2.0%)	39	✖
濁水の発生を極力防止する			実行管理	発生ゼロ	○
建設騒音・振動の発生を極力防止する			実行管理	十分な対応	○
建設現場地域の景観保存をする			実行管理	十分な対応	○
環境に関する提案をする			実行管理	施主に提案	○

※九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.382kg-CO₂/kWh)を使用

***取組結果とその評価**

二酸化炭素排出量の削減

電気使用量	令和 4年度の使用量 49,960kWh 令和 5年度の使用量 28,863kWh	R5年は、大規模工事がなかったが、R6年は2-3件あるので、R5年実績に比し、幾分の増加が見込まれる。
軽油使用量	令和 4年度の使用量 1,677 L 令和 5年度の使用量 2,171 L	主に自社施工のリフォーム、営繕工事に使用しているので、外部工事の影響は受けにくいと考える。
ガソリン使用量	令和 4年度の使用量 10,140L 令和 5年度の使用量 6,907L	大規模工事に他事業所からの応援がどうしても必要であり、R5年よりは増加する見込み。

廃棄物排出量の削減

令和 4年度の排出量 95t	R5年は大規模工事がなかったが、R6年は複数あるのでR5年よりは増加する見込み。
令和 5年度の排出量 49t	

建設副資材のリサイクル率

令和 4年度のリサイクル率94.40%	今後とも比率の向上を目指し、適正な発注を心がける。
令和 5年度のリサイクル率94.80%	

総排水量の削減

令和 4年度の使用量 417m ³	R5年は大規模工事がなかったが、R6年は複数あるのでR5年よりは増加する見込み。
令和 5年度の使用量 194m ³	

グリーン購入

令和 4年度 49%	今後ともより一層の向上を目指す。
令和 5年度 34%	

濁水の発生

濁水の発生はありません。	濁水の発生はありません。
--------------	--------------

振動の発生

振動の発生を極力防止するよう努めております。	振動の発生を極力防止するよう努めております。
------------------------	------------------------

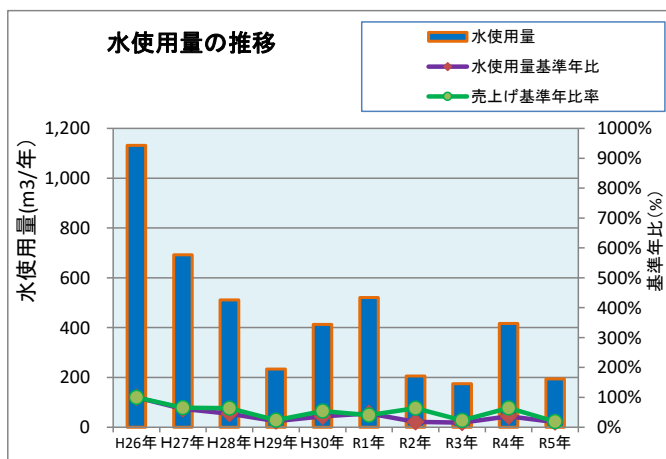
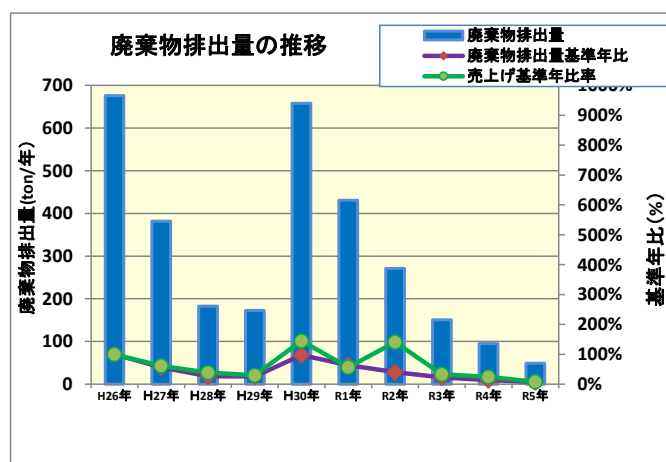
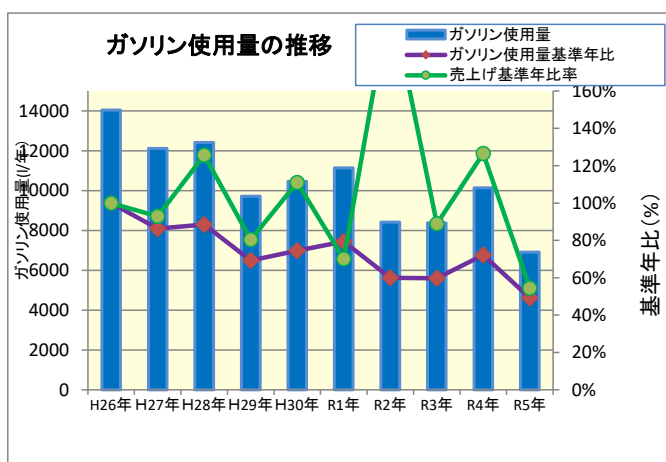
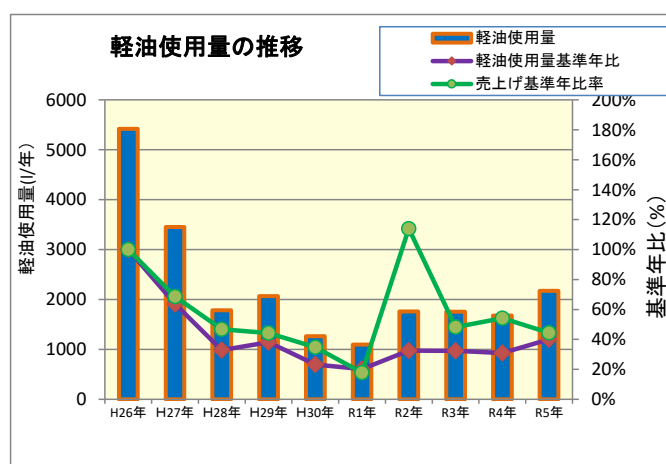
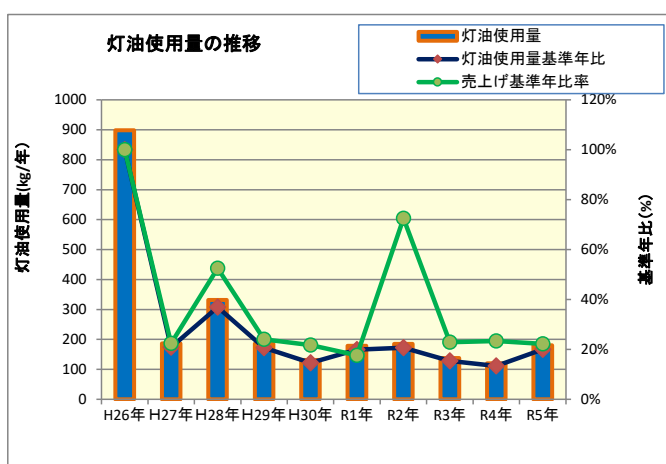
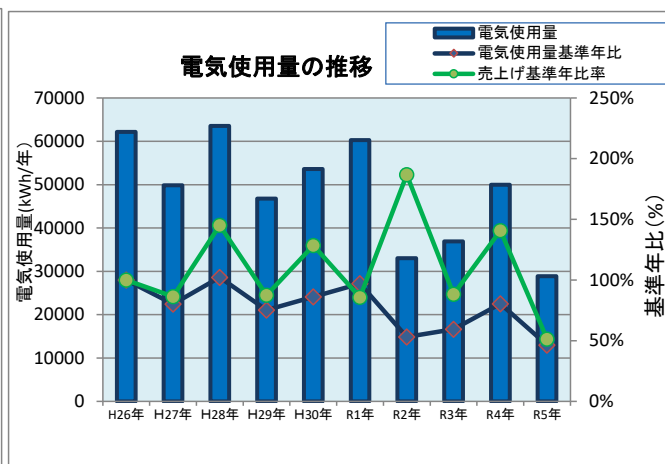
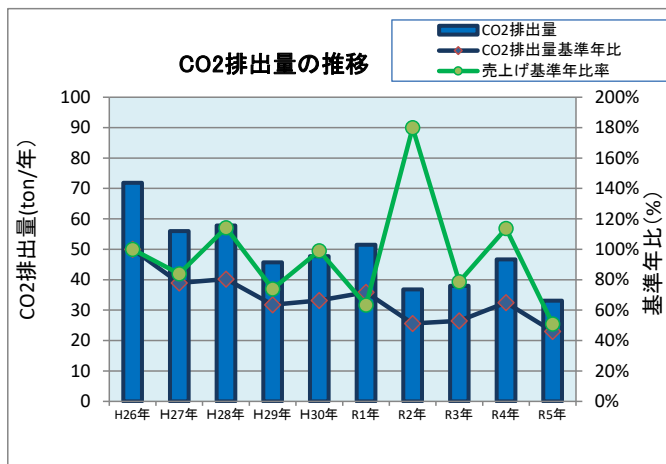
地域の景観保存

現場の整理整頓、周辺清掃	各現場とも、適切に実施管理できました。
--------------	---------------------

環境配慮の提案

施主に環境配慮した材料選択を提案しました。	現場ごとに、施主とのコミュニケーションにより環境配慮材料使用を提案しました。
-----------------------	--

環境負荷推移グラフ



次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標

項 目	単位	令和4年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	47,237	47,006 (▲0.49%)	46,817 (▲0.89%)	46,637 (▲1.27%)
電気使用量	kWh	49,960	49,710 (▲0.5%)	49,600 (▲0.7%)	49,560 (▲0.8%)
灯油使用量	ℓ	120	120 (- %)	119 (▲0.8%)	110 (▲8.3%)
軽油使用量	ℓ	1,677	1,670 (▲0.4%)	1,650 (▲1.6%)	1,640 (▲2.2%)
ガソリン使用量	ℓ	10,140	10,090 (▲0.5%)	10,050 (▲0.9%)	10,000 (▲1.4%)
廃棄物排出量	t	95	95 (- %)	93 (▲2.1%)	90 (▲5.3%)
建設副資材のリサイクル率	%	94.4	95 (0.6%)	95 (0.6%)	96 (1.7%)
水使用量	m ³	417	415 (▲0.5%)	410 (▲1.7%)	400 (▲4.1%)
グリーン購入 文具の購入時にはグリーン購入 を優先する	%	49	50 (2.0%)	52 (6.1%)	54 (10.2%)
濁水の発生を極力防止する					
建設騒音・振動の発生を極力防止する					
建設現場地域の景観保存をする。					
環境に関する提案をする。					

事業年度は「7月1日～翌年の6月30日」

上記表には中津支店も含む

※九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.382kg-CO₂/kWh)を使用

次年度の環境経営計画

【 事 務 所 】

二酸化炭素排出量の削減	
取 組 目 標	活 動 項 目
電気使用量の削減 	・エアコン設定温度を決め、実行する(温度計設置) (冷房28℃、暖房23℃) ・昼休みの消灯 ・残業時の不要な照明の消灯 ・長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
灯油使用量の削減	・温度計を設置し室温の適切な管理を行う
ガソリン使用量の削減	・エコドライブの励行 ・アイドリングストップの励行 ・車両のタイヤ空気圧の適正維持
軽油使用量の削減	・省エネドライブの励行 ・アイドリングストップの励行

一般廃棄物排出量の削減	
取 組 目 標	活 動 項 目
紙使用量の削減 	・ペーパーレス化の推進 ・裏紙の利用 ・分別により紙類を再利用業者へ

総排水量の削減	
取 組 目 標	活 動 項 目
節水活動の推進 	・蛇口はこまめにひねる。

グリーン購入の推進	
取 組 目 標	活 動 項 目
グリーン購入の推進	・文具の購入時にはグリーン購入を優先する。

【 建設現場 】

二酸化炭素排出量の削減	
取組目標	活動項目
電気使用量の削減	・エアコン設定温度を決め、実行する.(冷房28℃、暖房23℃) ・昼休みの消灯 ・不要な照明の消灯
軽油使用量の削減	・省エネドライブの励行 ・アイドリングストップの励行 ・車両のタイヤ空気圧の適正維持

廃棄物排出量の削減	
取組目標	活動項目
産業廃棄物の削減	・廃棄物の分別の徹底
紙屑の削減	・裏紙の利用 ・ペーパーレス化の推進 ・シュレッダーの使用を機密文書等に限る ・分別により紙類を再利用業者へ

リサイクル率の向上	
取組目標	活動項目
リサイクル率の向上	・廃棄物の分別方法の工夫 ・紙類を再利用業者へ

濁水の発生防止	
取組目標	活動項目
濁水の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情の発生を「ゼロ」に維持する。	・濁水の適切な処理の実施

建設騒音・振動の発生防止	
取組目標	活動項目
建設騒音・振動の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情の発生を「ゼロ」に維持する。	・低騒音型建設機材の検討・採用 ・作業工程の工夫など影響の最小限化

建設現場地域の景観保存	
取組目標	活動項目
地域との協調ならびに景観保存	・建設現場の整理整頓、清掃

環境に関する提案	
取組目標	活動項目
環境に関する提案	・工事受注の際には、施工主に環境に関する提案を行う。

環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規及び条例に関する違反はありませんでした。

また、関係機関からの指摘も利害関係者からの訴訟もありませんでした。

法 律 名	遵守状況
廃棄物処理法	問題なし
資源有効利用促進法	問題なし
建設リサイクル法	問題なし
オフロード法	問題なし
建築基準法	問題なし
騒音規制法	問題なし
振動規制法	問題なし
消防法	問題なし
大気汚染防止法	問題なし
フロン排出抑制法 (改正フロン法)	問題なし

代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

コロナ禍の数年間、総需要も落ち込み、環境関係の指標は逆に改善傾向が見られていたのではないかと考えます。

本年以降は当社においても大工事の受注が複数見込まれており、指標上の低下も考えられますが、そのような状況においても各目標について、実質的に削減がなされるよう社員一同努力してまいります。

日々の活動を行う場合にも利益を考えるのはもちろんのこと方針を優先して活動していくよう徹底してまいります。